

KSGA

KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION



競技に愛を
記録に夢を
練習に心を

(鈴木
聞多)



季刊

関東学生ゴルフ連盟発行

Vol.52

タイトリストじゃないと勝てない。

タイトリストに絶対の信頼をおいてUSPGAツアーを闘っているプロたち。

今年も数々の劇的な勝利を手にしています。勝ち続けるためのゴルフギア、タイトリスト。

タイトリストは最高のゴルフを追求するゴルファーたちと常に強力なパートナーシップで結ばれ、お互いのコミュニケーションのなかからゴルフギアの進化をカタチにしてきました。

ゴルフギアの進化の歴史はタイトリストの歴史といっても過言ではありません。

勝つためのタイトリスト。最もシビアな状況で闘っている

USPGAツアーのトッププロたちの戦績がそれを証明しています。

多くのゴルファーが今日も世界のどこかでタイトリストと一緒に闘っています。



8.5°
Titleist
PRO TITANIUM
975J

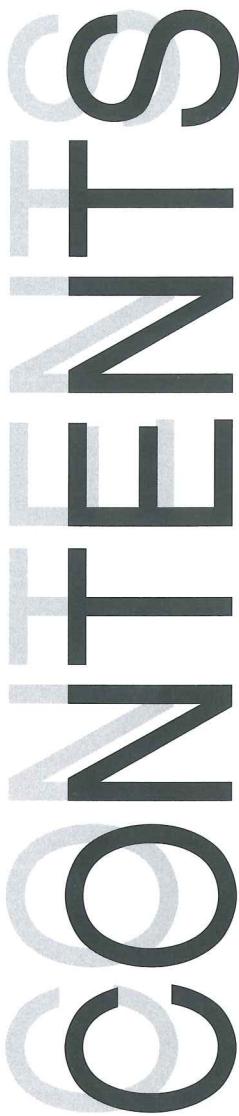
- TITLEIST PRO V1
- TITLEIST TITANIUM DRIVER
- TITLEIST FAIRWAY METALS
- TITLEIST IRONS
- VOKEY DESIGN WEDGES
- SCOTTY CAMERON BY TITLEIST

Titleist®

GOLF'S SYMBOL OF EXCELLENCE.

アクシネット ジャパン インク(タイトリスト) <http://www.titleist.co.jp>

KSGA
KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION



関東学生ゴルフ連盟 VOL.52

グラビア 関東大学春季A・Bブロック対抗戦、全日本大学ゴルフ対抗戦から 2~3

巻頭言 チョイスカップのこと ●関東学生ゴルフ連盟会長 松本富夫 4

随想 生き残るための夏合宿攻略法 ●ヨネックス(株) 秋山達哉 5

連載② 学生GOLFあの日、あの時 ●福島靖 6~7

2001年度 JGAアカデミック・ゴルフ・アウォード 8

KSGA便り 9

我がゴルフ部 ●一橋大学 東京女子大学 10

議事録 11~13

競技会レポート 第39回全日本大学ゴルフ対抗戦 14

Result 第39回全日本大学ゴルフ対抗戦 15

競技会レポート 第25回全日本女子大学ゴルフ対抗戦 16

Result 第25回全日本女子大学ゴルフ対抗戦 17

競技会レポート 平成14年度関東大学春季Aブロック対抗戦 18

Result 平成14年度関東大学春季Aブロック対抗戦 19

競技会レポート 平成14年度関東大学春季Bブロック対抗戦 20

Result 平成14年度関東大学春季Bブロック対抗戦 21

競技会レポート 平成14年度関東大学春季C・D・E・Fブロック対抗戦 22~23

Result 平成14年度関東大学春季C・D・E・Fブロック対抗戦 24~27

競技会レポート 平成14年度関東女子大学春季Aブロック対抗戦 30

Result 平成14年度関東女子大学春季Aブロック対抗戦 31

競技会レポート 平成14年度関東女子大学春季Bブロック対抗戦 32

Result 平成14年度関東女子大学春季Bブロック対抗戦 33

競技会レポート 平成14年度関東女子大学春季C・Dブロック対抗戦 34

Result 平成14年度関東女子大学春季C・Dブロック対抗戦 35~36

Result 第50回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会(第1・第2会場) 38~39

Result 第40回関東女子学生ゴルフ選手権予選会 40

Result 平成14年度関東学生ゴルフ連盟男女月例会(4月~6月) 41~45

編集後記 46

新刊紹介

伊沢利光著『僕のゴルフ』(株式会社ソフトガレージ刊)

筆者は2001年度、日本プロゴルフの賞金王に輝いた学生ゴルフ出身のプロ。8歳からクラブを振り始め、日体大から日本体育大学に進み、94年から日本国内のプロツアーに参加している。

昨年は前記賞金王になったのを始め、マスターズトーナメントでは日本人最高の4位に入る大健闘で、日本のゴルフを世界に知らしめた。

まさしく油の乗ったプロが“より遠く、より確実に”飛ばすために著した、体験が生み出したゴルフ上達の手引き書といえる。

本書は、ゴルファー永遠のテーマである飛ばして確実性の高いボールを打つテクニックを身につけるためのトレーニングの秘法。お金で買えるスコアは道具といわれるが、信頼できる道具選び、コース攻略のテクニックのヒントを分かりやすく語っている。

アーノルド・パーマーをして「スwingの王」といわしめた、若い世代を代表するプロ伊沢利光の力作。同世代のヤングゴルファー必見の書だ。

(定価1,600円+税・広告29頁)

関東大学春季A・Bブロック対抗戦、 全日本大学ゴルフ対抗戦点描



A・Bブロック対抗戦

◀ 戰況はいかに？とグリーン脇でプレーを見守る各校の首脳

▼ 最終ホールのグリーンを取り囲んだ各校の部員たち



▲ 女子4月の月例優勝者、旭岡さん（中央学院大学）は情報収集係り



▲ これ、勤労奉仕の図



▲ 思いよ届け！組み合わせ表に激励文を書いてグリーン横で応援する日本体育大学女子部員



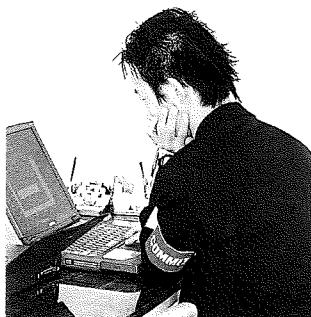
▲ Aブロックでは一日で3人のホールインワンが出た。東ノ宮CC・三村社長から記念品が授与された。

全日対抗戦



第39回全日本大学ゴルフ対抗戦
第25回全日本女子大学ゴルフ対抗戦

主催：全日本学生ゴルフ連盟



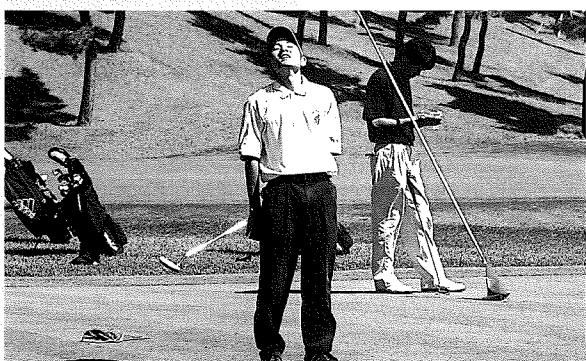
◀ 沈思黙考。いやいや、競技結果表の作成に苦闘する競技委員長



地元、東北福祉大学の部員、地区連盟の役員が2日間の大会を献身的に支えてくれた。稽舞台には立たなかつたが、大会を成功させた功労者である。



▲ 女性クルーが奮戦す！仙台のテレビ局が対抗戦を取材したが、大勢のスタッフに混じって女性クルーがビデオカメラを回した。



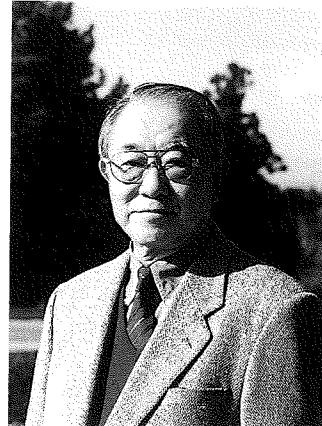
▲ 権君（東北福祉大学）無念。狙ったパットが入らず、天を仰いだ。



▲ 急追及ばず2位に甘んじた日本大学女子の健闘を称える和田監督

チョイスカップのこと

関東学生ゴルフ連盟 会長 松本 富夫



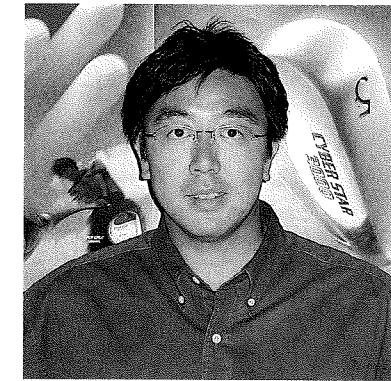
学生ゴルフ連盟の事務局には伝統を物語る優勝カップの数々が陳列されているが、先日、これらカップを眺めていて韓国大学ゴルフ連盟副会長のパク・ヤング・ミンさんとのことを思い出した。その中の一つチョイスカップは1991年11月、韓国・ソウル郊外にある『club 700』というゴルフコースで行われた大学ゴルフの日韓対抗戦の勝者に与えられたものである。この年、日本チームは男子8人、女子4人の計12人で日韓親善試合で韓国に遠征した。男子のメンバーは丸山茂樹（当時日大）、桧垣繁正（近畿大）、松葉（同志社大）、横尾要（日大）の諸君たちであった。女子は芳賀ゆきよ（豊橋短大）、井上陽子（専修大）といったメンバーだった。

この時代、韓国の学生ゴルフは黎明期で、日本を範として普及に情熱を燃やしていた。韓国の学生ゴルファーといえば裕福な家庭に育った子女に限られていた。日本から学生を招いた裏には、実力面でどれだけ差があるのかを図り知り、学ぶべきは学ぼうではないかという前向きな意欲があったからだろう。勝敗は明らかだった。力に勝る日本チームは男女とも圧勝して、このカップを土産に帰国したのである。その後、韓国学生ゴルフの成長は顕著なものがある。良き指導者のもと、多くの優秀なゴルファーが育ち、日本のみならず、アメリカにも活躍の舞台を広げて好成績を挙げている例は枚挙にいとまがない。

この日韓学生ゴルフの対抗戦を支えてくれたのは、チョイスという韓国のスポーツ用品メーカーだった。これに前出のパク博士が献身的なお世話をしてくれたのが忘れられない。パク博士とはその後も対抗戦をやりしましょと約束したのだが、バブル崩壊後、両国の経済事情ではいかんともし難した。だが、いつかは韓国の学生チームを招いてやりたい、という夢は持っている。韓国は昨年、日本アマ選手権に金晃涉という優秀な学生を送り込んできた。宮里君と決勝戦で死闘を演じたのは記憶に新しい。あの頃は日本の学生が一步先んじていた。しかし、いまは実力が伯仲しているだろう。パク博士と並んで日韓学生の交流競技を眺めたいものだ、とあのカップを眺めるたびに思い出し、なんとか再開に漕ぎつけたいという念にかられている。いま、アジアのゴルフは韓国勢を筆頭に世界に向けて大きく羽ばたいている。韓国にはパク博士のようなゴルフ愛好家が若い世代に夢を託している上に、若い世代がこれに応えているからだ、と思える。

『生き残るための夏合宿攻略法』

秋山 達哉



“夏をいかに生き残るか”これが我がゴルフ部の最大の課題だった。ゴルフというものは紳士的で楽でオジン臭いスポーツに見られるが、学生ゴルフは汗と涙と鼻水でグチャグチャな世界なのだ。

夏のスケジュールを振り返ってみると、試験が終わる7月24日から2日間、『1, 2年生合宿』が始まる。いつもは優しい2年生は、この時ばかりは“やなやつ”に変身する。3, 4年生に会わせる前、いわゆる教育的指導の場であり、伝統なのだ。

我々が契約している千葉県・東金にある新千葉CCが戦場である。宿舎は『スカイハウス』。名前からは想像できない、ただの普通のよくある家である。まず、宿舎に着くと、やらなければならないことはダニアースとペーパーマットを焚くことであった。

2日おいて、本番の全学年が登場する恐怖の“新千葉合宿”が8月3日まで続く。灼熱地獄との戦いだ。なにせ炎天下でマラソンをするようなものなのだ。キャディーバッグを背負い、1年生は走らなければならない。1ラウンドハーフを回ると実質7時間、走り続けたようなもの。当時は精神力第一主義であり、水分は与えられない。朝は4時30分に悪魔のような目覚まし時計が鳴り響く。夕方暗くなりかかる5時ごろ、干上がった体でスカイハウスになだれ込む。しかし、これで一日は終わらない。最大の難行『ミーティング』がある。正座で1時間あまりの説教が続く。

これが終わって3日後、夏のリーグ戦が行われる栃木県の那須小川CCでの合宿が行われる。3日間ではあるが、初めてのコース、初めての宿舎、蛇に睨まれた蛙のような心境であった。

以上、合宿によって、スコアの上位10人が準レギュラーとして選ばれる。私たちレギュラーは、もちろんお盆休みなどない。『お盆にゴルフなんかするんじゃないネエよ』と思いながらも笑顔でキャディーのアルバイトを新千葉CCで行っているのだ。

8月19日から3日間、こんどはプロのトーナメントの『マルマンオープン』のアルバイト。ここでの他大学（とくに女子大ゴルフ部）との交流は一時の清涼剤である。

アルバイトが終り、息を吸って吐く間もなく2日後、24日夜から、その名も『新千葉強化合宿』の始まりである。ゴルフ場の坂を登るたびに『ああまた来てしまった』と思う。まだ夏は終わらない。

翌29日、ドス黒く焼けた肌だけを戦利品として、気がつくと関東オープン選手権が開催される江戸崎CCにいた。4日間プロのキャディーについて、1万円をもらった。たまにはいいこともある。

知らぬ間に月は9月。いよいよメインイベントの夏期リーグ戦が行われる。レギュラー7人のうち、試合に出られるのは5人。内4人の2日間の合計スコアで争われる。いつも前評判のいい我が獨協大学は3位という成績。課題はまだ無限大に多い。

リーグ戦が終わったその夜、新千葉CCに車は向かっている。どうやら夏を生き残る攻略法なるものはないらしい。あるとすればそれはゴルフを愛する心と同輩の友情しかない。車窓から見える町のネオンと楽しそうに歩くアベックをよそに、『また、宜しくお願ひしまーす』と大声を張り上げるだけだった。

（筆者はヨネックス（株）ゴルフ事業部勤務）

KSGA 特別企画 清田君に語ってもらった。

清田君(日本体育大学4年)、USオープンで大健闘 昨年のUSアマのベスト8に続く快挙

日本体育大学4年生の清田太一郎君(熊本県出身・沖学園高)は、昨年のUSアマチュア選手権出場に続き、今年はアメリカゴルフ界の最高峰であるUSオープン選手権に日本人のアマチュアとしては2人目の出場を果した。同選手権では残念ながら前半でカットされて後半に進めなかつたが、2人目の日本人アマチュアとして世界の大舞台で大いに気を吐いた。

予選突破の快進撃で本戦出場

清田君は昨年、USアマ選手権に挑み、ベスト8入りという快挙を達成した。帰国後の第一戦、日本アマ(7月・北海道)では準決勝に進出するなど着実に地力をつけ、学生ゴルフ界では宮里優作君(東北福祉大学)と並ぶ学生界の双璧といわれる存在である。

その清田君はさらなる飛躍を求めて、今年はもう一步格上のUSオープンに挑戦したのである。同オープン選手権に出場するには2度にわたる予選という高いハードルを飛び越えねばならない。清田君は去る6月4日、ニューヨークでの地区予選(第二次)に挑み、67・73というスコアで4位タイになり、晴れてUSオープン本選の出場権を獲得している。第一次の地方予選は、昨年のUSアマでベスト8に入ったために予選免除の恩恵に与ったのだ。

本年度のUSオープン選手権は去る6月13日から16日までの4日間、ニューヨーク州のロングアイランドにあるスペーシー州公園のブラックコース(全長7,214ヤード、パー70)で世界の強豪156人が参加して行われた。日本からはいずれも学生ゴルフ出身のプロ伊沢利光、丸山茂樹、片山晋吾、横尾要や田中秀道等5君が出場した。その中で丸山君が第2ラウンドの14番でホ



ールインワンを記録するなど話題は豊富だった。アマチュアの清田君は第1日を73で回り、プロの田中君と並んで41位タイの健闘をしたが、第2ラウンドでスコアを崩し、通算9オーバーパーの86位に落ちて後半に進めなかつた。優勝はタイガー・ウッズ。スコアは277。2年ぶり2回目の優勝だった。

全日本大学対抗戦に出場中の清田君に聞いてみた。

『第一印象はアメリカのゴルフ競技はすべての点でスケールが違うという点です。主催者のUSGAは、今回のオープン選手権開催に当たって莫大な費用をかけてコースの整備をしたということです。ざっと300万ドル以上の大金をかけたと聞いています。

今回はアメリカでも名の通ったパブリックコースでの開催で、日本ではパブリックコースでの開催はとて

関東学生ゴルフ連盟
顧問 福島 靖

学生GOLF あの日、あの時

KSGA
KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION



学ゴルフ対抗戦
大学ゴルフ対抗戦
▲全日本大学ゴルフ対抗戦より

も考えられないことです。さすがにゴルフ大国という感じでした』

このように清田君は進んでアメリカの厳しい条件にチャレンジしている。そこでなにを求めようとしたのだろうか。

『人間はより高いものを求めるものです。国内でいろいろな試合に出るのも勉強になりますが、もっと厳しい過酷な条件でプレーする機会があれば自分のゴルフに磨きがかかると思い、アメリカ行きを決意しました。昨年はアマチュアの選手権に試練の場を求めました。首尾よくベスト8入りができました。その成績を下地にUSオープンにチャレンジしてみました。幸運にも本選に出る資格を得ました。日本のアマチュアが出席するのは1985年の富永浩さん(成城大学出、現在はプロ)以来ということで、現地では大変な話題になりました』

世界の晴れ舞台になったニューヨークのコース(スペースージのブラックコース)はどんなコースだったのか。清田君は、『思い出してもぞっとする』と首をくくる。

『あのコースは一口に表現すれば長くてタフなコースです。届くと思って打っても届かないところが沢山ありました。タイガー・ウッズは6番アイアンで打つところが、我々だと3番アイアンになります。各ホールの周囲の草が深く、フェアウェーをはずれたらまさに“草地獄”に落ちる感じでした。それに比べると日

本のゴルフコースは楽園という感じがしました』 そういわれてみると、かつてUSオープンに出た富永君も同じような印象を語っていた。『端的に表現すると想像できない難しさというのかな。とにかく、どの方向に打っていいやら、と迷うホールばかりです。それがUSオープンの舞台です』

ここに清田君が、あえてアメリカに目をむけた要因がある。

『チャンスは自分から作るしかない、と日頃から考えていました。思い切ってアメリカに出かけ、過酷な条件下で、世界の強豪にもまれてみたいと思っていました。井の中の蛙だと飛躍はないと決めていましたから、渡米後は積極的に行動しました。そこで学んだことは、世界の一流どころは安易な条件下では練習しないということです。あえて過酷な条件を求めてやります。いい気象条件ばかりでやっていると、雨、風が出ると環境に負けてしまうからでしょう。最悪の条件で練習する必要性を学びました』

さて、清田君は今後、どんな過酷な条件でも平然とプレーできる逞しい精神と肉体面の強化をどう実践できるか。そこに注目したいものだ。最後に日本のアマチュアゴルファーがアメリカでどう受け入れられたか。

“イチロー”で人気者に

『ゴルフのイチロー(シアトル・マリナーズ)でした。アメリカ人は「タイチロー(太一郎)」と発音しにくいらしく、マリナーズのイチロー選手と同じ呼び方をされました。そこで、日本人として自己主張できるプレーを目指したいと思いました。ゴルフのイチローでやってみたいものです。ハイ』

清田君は6月16日に帰国し、その足で仙台入りし、練習ラウンドは不十分のまま、全日対抗戦に臨んだ。第1日は74ながら、日本体育大学のメンバーの中ではベストスコアでチームを引っ張った。最終日もベストスコアをマークして2位に入る原動力になった。

この夏は、FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権の日本代表として再びアメリカに渡る。ひと皮むけた清田君に期待しよう。

2001年度 JGA アカデミック・ゴルフ・アワード

学生ゴルフ界から谷口君、斎藤さん(ともに東北福祉大学)が優秀賞、浅川さん(慶應義塾大学)が奨励賞に選ばれる。

2001年度の日本ゴルフ協会(JGA)アカデミック・ゴルフ・アワードの表彰式が3月27日、東京・丸の内の日本ゴルフ協会で行われ、日本ゴルフ協会育成委員長の前川昭一委員長から受賞者6人と、各受賞者が在学する学校のゴルフ部に記念楯がそれぞれ贈られた。

JGAアカデミック・ゴルフ・アワードは、将来の日本のゴルフ界を背負うであろうと期待される若いゴルファーを育成し、激励するために設けられた表彰制度で、高校生及び大学生の中から各学校の監督、部長から推薦された生徒、学生の学業成績、論文を審査の対象とし、日本ゴルフ協会育成委員会が最優秀賞、優秀賞、奨励賞の受賞者を選出する。

大学生の部からは、2001トピーカップ日米大学対抗ゴルフ選手権個人優勝、日本女子学生ゴルフ選手

権4位等の素晴らしい成績をおさめた東北福祉大学4年生の斎藤美香さんが優秀賞を受賞、また、日本学生ゴルフ選手権2位、関東学生ゴルフ選手権2位等の成績をおさめた東北福祉大学4年生の谷口拓也君が同じく優秀賞を受賞、慶應義塾大学2年生の浅川弘子さんが奨励賞を受賞した。

最優秀賞には、おかやま山陽高等学校3年生の上原彩子さんが選ばれた。

上原さんは沖縄県の出身で、おかやま山陽高等学校ゴルフ部のキャプテン。前年の競技成績は全日本サンケイスポーツ女子アマ選手権2位を始め、日刊アマ2001全日本レディース選手権2位等の輝かしい成績を残し、これからも活躍が期待される。

この日、記念楯の授与後、受賞者たちは自作の論文を朗読した。

2001年度の受賞者は次の通り

大学生の部

優秀賞 斎藤美香 (東北福祉大学4年生)

- トピーカップ日米大学対抗戦 個人優勝
- 日本女子学生選手権4位
- 日本女子アマ選手権ベスト16

優秀賞 谷口拓也 (東北福祉大学4年生)

- 日本学生選手権2位
- 関東学生選手権2位
- 四国アマチュア選手権優勝

奨励賞 浅川弘子 (慶應義塾大学2年生)

- 日本女子学生選手権11位
- 日本女子アマチュア選手権ベスト16



▲前列左より上原さん、高山君、森本君
後列左より浅川さん、斎藤さん、谷口君

高校生の部

最優秀賞 上原彩子 (おかやま山陽高等学校3年生)

- 全日本サンケイスポーツ女子アマ選手権2位
- 日刊アマ2001全日本レディース選手権2位
- JGA日本女子アマ2位 (マッチプレー進出)
- 日本ジュニア選手権20位

優秀賞 高山準平 (愛知県・春日丘高等学校3年生)

- 2001日本ジュニア選手権優勝
- 2001中部ジュニア選手権優勝
- 2001全国高等学校選手権2位タイ

奨励賞 森本雄也 (大阪桐蔭高等学校3年生)

- 2001関西高等学校春季大会優勝
- 2001関西ジュニア選手権優勝
- 2001全国高等学校選手権準優勝

●谷口君の話

「日本学生選手権の2位が評価されて嬉しい。これを踏み台にして、ゴルフ界で一層活躍できるよう精進いたします。」

●斎藤さんの話

「将来、ゴルフ界で身を立てるきっかけになります。多くの指導者に恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。」

KSGA便り

全日本学生ゴルフ連盟の旗が完成

全日本学生ゴルフ連盟では連盟旗の制作をすすめていましたが、このほど完成し、今後は連盟主催の競技会で掲揚されることになりました。

全日本学生ゴルフ連盟は昭和31年3月に誕生していますが、連盟を象徴する旗がなく、連盟旗の制定を検討してきましたが、誕生46年目にして連盟旗が生まれたわけになります。

また、同時にエンブレムも制作しました。

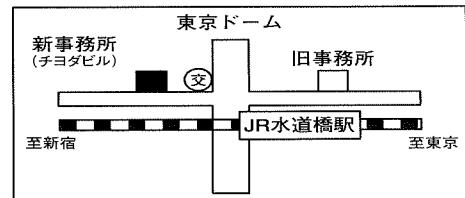
●エンブレム



●連盟旗(縦118cm×横183cm)

関東学生ゴルフ連盟の事務所が移転しました。

関東学生ゴルフ連盟の事務所(全日本学生ゴルフ連盟、トピーカップ事務局)は平成14年6月10日から新しい事務所に移転しました。所在地は東京都千代田区三崎町3-9-3 チヨダビル4階です。電話、FAXなどはトピーカップ事務局ともども従来通りです。JR水道橋駅西口を出て、交差点に面した交番の背後にある細いビルです。執務時間は午前10時から午後5時まで。土、日、祭日は休みです。



第27回FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権及び第9回世界大学ゴルフ選手権日本代表決まる。

全日本学生ゴルフ連盟では、第27回FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権と第9回世界大学ゴルフ選手権の日本代表選出について、去る2月16日の全日本学生連盟理事会で決定した通り、両大会に出場する日本チームの団長に松本富夫全日本学生連盟副会長以下、コーチ、男女選手団の顔ぶれを下記のように決めた。

第27回FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権は7月17日より3日間、アメリカのイリノイ州シカゴのザ・グレンCCで行われる。一方、第9回世界大学ゴルフ選手権は、大学生のオリンピックといわれるユニバーシアード大会のゴルフ競技で、8月11日から14日までの4日間、台湾の台北市郊外にある揚昇高爾夫俱楽部で行われ、72ホールのプレーで個人戦、団体戦の優勝が争われる。日本は初参加。

FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権日本代表

団長 松本富夫 (全日本学生ゴルフ連盟副会長)

男子監督 安部靖彦 (同理事)

女子監督 松本富夫 (同副会長)

学生役員 未定

男子選手 宮里優作 (東北福祉大4年)、清田太一郎 (日本体育大4年)、池田力 (日本大4年)、坂本聰 (日本体育大3年)、藤島豊和 (東北福祉大3年)、甲斐慎太郎 (日本体育大3年)、上井邦浩 (名古屋商科大2年)、藤島晴雄 (東北福祉大1年)

女子選手 古屋京子 (福岡大3年)、松村瞳 (九州東海大3年)、恒川智会 (同志社大2年)、成田いずみ (九州東海大2年) 以上男女12人。

世界学生ゴルフ選手権日本代表

団長 松本富夫 (全日本学生ゴルフ連盟副会長)

男子監督 安部靖彦 (同理事)

学生役員 宮永隆典 (全日本学生ゴルフ連盟競技委員長)、佐藤直子 (関東学生ゴルフ連盟)

男子選手 宮里優作 (東北福祉大4年)、池田力 (日本大4年)、甲斐慎太郎 (日本体育大3年)、坂本聰 (日本体育大3年)、上井邦浩 (名古屋商科大2年)

女子選手 真鍋早彩 (日本体育大3年)、石川沙織 (日本大4年)、古屋京子 (福岡大3年)、黒田律子 (東北福祉大2年)、恒川智会 (同志社大2年) 以上男女11人。

我が ゴルフ部

一橋大学

所在地 〒186-8601 東京都国立市中二丁目1番地 ☎042-580-8032



監督 高橋 一
主将 平口 慶幸
主務 船橋 秀輔
部員数 26人
創部 1959年（昭和34年）
戦績 平成13年度関東大学春季Dブロック対抗戦7位
平成13年度関東大学秋季Dブロック対抗戦3位
平成14年度関東大学春季Dブロック対抗戦4位



一橋大学ゴルフ部は、部員のほとんどが大学生になってからゴルフを始めたという学生ばかりとすることもあり、先輩・後輩の隔たりなくお互いにアドバイスしながら一丸となって練習に取り組んでいます。

主に、小平にある山王ゴルフセンターで週3回ショットとランニングを中心とした練習を行い、週末には房総カントリークラブと南総カントリークラブでキャディーバイトをした後に、練習ラウンドをしています。これを通して我々はゴルフの技術だけでなく、社会人としての礼儀や人の接し方など、普通の生活では学べない貴重な体験をしています。

また、年始には「ミルク杯」という年に一度の部内コンペティションがあり、これは優勝ペアが牛乳の一気飲みをするといったルールのユニークな行事があります。

今後も、ブロック昇格を第一の目標としながらも、それと同時に仲間同士のつながりや礼儀を大切に日々活動していきたいと思います。

東京女子大学

所在地 〒186-8668 東京都国立市富士見台四丁目30番地の1 ☎042-572-4131



部長 森山 剛一
コーチ 堀 美和子
主将 笠田 麻衣
主務 相川 美佐代
部員数 12人
戦績 平成13年度関東女子大学春季Eブロック対抗戦準優勝
平成13年度関東女子大学秋季Dブロック対抗戦4位



東京女子大学は、主に学校の敷地内の練習場で活動をしています。週に3~4回の練習です。使えない時は筋力トレーニングをしています。そして、月に1度OGを含めて月例会としてコースに出ています。また、合宿や夏の泊り込みのキャディーバイトを含めて、コースに出る機会を儲けています。

そんな中で私たちゴルフ部は、「仲良く、明るく、楽しく」をモットーに活動しています。上下関係を意識せずに、自己の技術向上を高める方に集中して、その中から楽しさ、ゴルフの奥深さなどを見出してもらいたいと思っています。それには、大会・他大学の方々との交流も大事な経験です。これからもより一層の一一致団結、切磋琢磨してがんばりたいと思います。

議事録

平成13年度 第3回関東学生ゴルフ連盟理事会 議事録

日時 平成14年3月6日(水) 18:20~20:00
場所 東京ドームホテル 5F 初音の間
出席 松本会長、浜島専任理事、川島、高木、各常任理事
生田、許斐、関根、成田、平井、本多、森岡、各理事、加畠事務局員
今西委員長、宮永競技委員長、芝山事務局長、公望会計局長

(いずれも順不同)

今西委員長が開会を宣して、松本富夫会長を議長として議事に入った。

議案及び議決、承認事項

第1号議案—「平成13年度活動報告並びに平成14年度活動計画」

今西委員長より、平成13年度の活動報告があった。単位制においては平成12年度加盟者数317名に対し、単位取得者240名、未取得者7名、申請しなかったものが70名であった。競技に関しては、男子34試合、女子21試合を消化、特に問題はなかった。風紀の面では、茶髪・アクセサリー等について指定練習日に警告を出し、試合に臨んでもらったが、試合日に失格になる者はいなかった。

平成14年度の活動計画については、試合数が男子30試合、女子18試合を予定。単位制導入によって、部活だけでなく学校にも行こうという学連側の配慮である。風紀に関しては、従来以上に厳しく取り締まっていく方針である。また、インターネットによるホームページにも力を入れていく。

第2号議案—「平成13年度決算報告並びに平成14年度予算案」

加畠事務局員より、平成13年度の決算報告並びに平成14年度の予算案について報告があった。（第2号議案、資料2を参照）

尚、平成14年度に新しい試みとして、連盟員手帳を作成することになった。これは、試合に出ていない者に対しての恩恵として発行する。

第3号議案—「監督・コーチのコース内立ち入りについて」

宮永競技委員長より、前回の規程において第3条「行動制限」、第4条「罰則」の変更点が報告された。この件に関しては、3月9日に行われる総会で承認されれば、平成14年度団体戦より適用することとなる。アドバイスに関して制限をなくしたが、時間がかかる場合はスロープレーが適用される。尚、全日本学生ゴルフ連盟の監督・コーチコース内立ち入りの条件とは、若干違うところがある。個人戦におけるギャラリーの立ち入りはコース側が認めれば良いものとする。

第4号議案—「海外選手派遣報告」

2月16日に行われた、全日本学生ゴルフ連盟理事会において、第27回FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権の団長、コーチが決定。

団長 松本 富夫 全日本学生ゴルフ連盟副会長

コーチ 阿部 靖彦 全日本学生ゴルフ連盟理事

尚、選手選考（男子8名・女子4名）、学生役員に関しては4月に決定。

平成14年度の海外競技として8月に台湾で行われる、第9回世界大学ゴルフ選手権への参加が決定。選手は男子6名・女子5名、役員4名が派遣される。

その他—「平成14年度関東大学秋季A並びにBブロックリーグ戦のダブルスについて」

宮永競技委員長より、従来の4ボールフォアサムより、2ボールフォアサムへ競技方法を変更してみてはどうかという提案がされた。この方法により、プレー時間が早まり、競技運営もしやすくなるということだ。しかし、理事の方からは反対の声が多く、別の方法でプレーを早くする努力をしていくこととなった。

以上、議事を終了したので松本富夫会長は閉会を宣した。

議事録

平成13年度 第3回関東学生ゴルフ連盟監督会議 議事録

日 時 平成14年3月7日(木) 18:20~19:35
場 所 東京ドームホテル 5F 初音の間
出 席 松本会長、沼田、柳田、田代、大嶋、堀切、森岡、本間、木村、桜井、小川、
嶋田、鈴木、浅田、棚網、黒須、青木、河内、務台、本間、各監督・コーチ
加畠事務局員、今西委員長、宮永競技委員長、芝山事務局長
(いずれも順不同)

今西委員長が開会を宣し、松本富夫会長を議長として議事に入った。

議案及び議決、承認事項

第1号議案—「平成14年度活動計画」

今西委員長より平成13年度を振り返り、競技においての反省、風紀への取り組み、単位制導入による結果報告があった。

平成14年度は競技開催数を減らすことで、学校と部活の両立ができるよう学連側としても環境を整えていく方針である。

第2号議案—「監督・コーチのコース内立ち入りについて」

宮永競技委員長より、昨年から問題となっている件について、行動制限、罰則を改正した上で、提示した。平成14年度の団体戦より、2月主将会議で提出した“監督・コーチ登録届”に記載されている監督・コーチのみ、IDを発行し、立ち入りを認めることになった。

第3号議案—「ルール・マナーの徹底について」

今西委員長より、風紀について平成13年度同様、厳しく取り締まっていくこととなった。指定練習日に、著しい茶髪やアクセサリーなど発見した際は、警告を出し試合日までに直していく。直してこなかった場合は失格とする。平成13年度は失格になった者はいなかったので、引き続き実行していく方針である。監督からも事前に注意をするようお願いをした。

第4号議案—「海外試合選手派遣報告」

2月に行われた全日本学生ゴルフ連盟理事会及び総会にて、第27回FUJI XEROX日米大学ゴルフ選手権の団長・コーチが決定した。

団長 松本 富夫 全日本学生ゴルフ連盟副会長

コーチ 阿部 靖彦 全日本学生ゴルフ連盟理事

選手、学生役員は未定。

8月9~15日に台湾で行われる第9回世界大学ゴルフ選手権に参加が決定。選手は男子6人（うち4人団体）、女子5人（うち3人団体）が出場、4日間72Hsストロークプレーで行われる。選手選考方法、役員等、詳細は未定で、6月に改めて報告する。

その他—「平成14年度関東大学秋季A並びにBブロックリーグ戦のダブルスについて」

現行の4ボールフォアサム形式から、2ボールフォアサム（オルターネット方式）を採用してみてはどうかという案が、宮永競技委員長より提案された。この件については、プレーの進行を早める方法として、従来実施していたシングルスとダブルスの競技順番を変更してみてはどうかという案も出た。また、タイムバーの作成など、改めて検討することとなった。

以上、議事を終了したので松本富夫会長は閉会を宣した。

議事録

平成13年度 関東学生ゴルフ連盟総会 議事録

日 時 平成14年3月9日(土) 15:00~15:30
場 所 明治大学リバティータワー 1038教室
出 席 松本富夫会長、高木常任理事、加畠事務局員、今西委員長、宮永競技委員長、
芝山事務局長、公望会計局長、関東学生ゴルフ連盟加盟校主将並びに主務
(いずれも順不同)

芝山事務局長が開会を宣し、規定により松本富夫会長が議長となり議事に入った。

議案及び議決、承認事項

第1号議案—「平成13年度関東学生ゴルフ連盟活動報告」

今西委員長より平成13年度活動報告がなされ、一同これを承認した。

第2号議案—「平成14年度関東学生ゴルフ連盟活動計画」

今西委員長より平成14年度活動計画が報告され、一同これを承認した。

第3号議案—「平成13年度関東学生ゴルフ連盟決算報告」

公望会計局長より平成13年度決算につき報告がなされ、引き続き高木邦雄常任理事によって、監査報告書が読み上げられ、一同異議なく承認可決された。（資料参照）

第4号議案—「平成14年度関東学生ゴルフ連盟予算案」

公望会計局長より平成14年度予算案が提出され、一同異議なく承認可決された。（資料参照）

第5号議案—「関東学生ゴルフ連盟規約改正・追加案」

関東学生ゴルフ連盟規約改正・追加案が芝山事務局長より提出され、一同異議なく承認可決された。これにより、平成14年3月10日より関東学生ゴルフ連盟は当規約に基づき運営されることとなった。（資料参照）

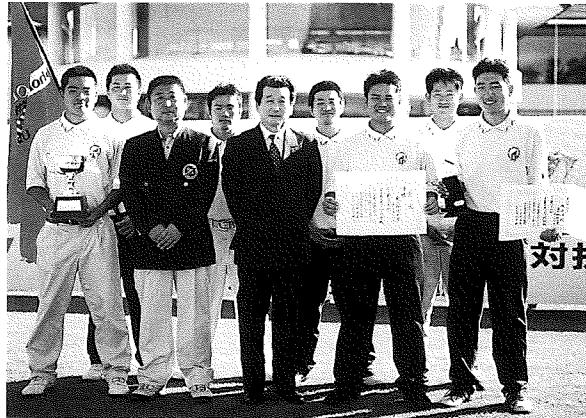
尚、関東学生ゴルフ連盟競技規程については資料を持って承認可決された。これにより、平成14年3月10日より関東学生ゴルフ連盟は当競技規程に基づき運営されることとなった。また、全日本学生ゴルフ連盟規約・競技規程改正については資料を持って報告がされた。（資料参照）

今西良典委員長より、平成14年度関東学生ゴルフ連盟運営に際して挨拶があった。

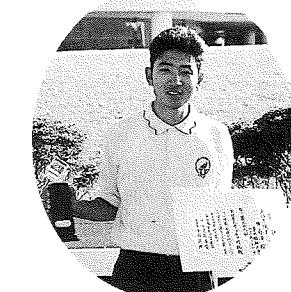
松本富夫会長より、平成14年度の関東学生ゴルフ連盟のあり方について挨拶があった。

以上、議事が終わったので松本富夫会長は閉会を宣した。

東北福祉大学が、昨年優勝の日本体育大学を制して雪辱



▲優勝 東北福祉大学チーム

▲男子の最優秀選手に選ばれた
権 奇澤君(東北福祉②)

今大会は、春の関東大学Aブロック対抗戦優勝で勢いのある東北福祉大学と対抗戦3打差で2位に終り巻き返しを図る日本大学、そして、連覇を狙う日本体育大学に注目が集まった。

第1日目、春の対抗戦から好調の東北福祉大学が280打で首位に立った。この日、権君がコースレコードとなる6アンダー（7バーディー、1ボギー）の66打をマークし、それに続き藤島晴雄君と山本君がともに1アンダーの71打、宮里君の72打とチームトータルが8アンダーで終り、最高のスタートとなった。2位には、日本体育大学の甲斐君が4アンダー（5バーディー、1ボギー）の68打、全米オープン帰りの清田君が72打とまとめ、チームトータル290打で、第2日目10打差を追う展開になった。3位以下は、5つの大学がチームト

タル300打から305打にひしめく混戦となった。第2日目は、このコースの特徴である強い風の中で行なわれた。第1日目、首位の東北福祉大学は、主将の宮里君のスコアが適用されなかつたが、チーム全体をまとめて、藤島晴雄君が72打、権君が73打（3バーディー、4ボギー）と続き全員が一丸となり、2日目チームトータル293打とし、2日間合計で573打として、優勝を飾った。女子も混戦を制した東北福祉大学が優勝し、同時優勝となった。2位には、日本体育大学、3位には、底力をを見せた日本大学が入り、関東勢が3位までを独占した。

最優秀選手には、第1日目コースレコードを出した東北福祉大学の権君が、第2日目も崩れることなく、139ストロークで獲得した。

(東洋大学 栗原卓也)



▲第2位 日本体育大学チーム



▲第3位 日本大学チーム

平成14年度
第39回全日本大学ゴルフ対抗戦

result

- 主催者
- 期日
- 使用コース
- 競技方法
- 取得権利
- 参加校
- 天候

関東学生ゴルフ連盟

平成14年6月18日(月)～19日(水)
利府ゴルフ倶楽部 OUT-IN 7,076yds Par72

2日間36ホールストロークプレー。7人エントリー5人出場、上位4人のトータルスコアで順位を決定。

上位7校までが、2002 TOPY CUP日米対抗ゴルフ選手権への出場権を取得。
札幌大学 東北福祉大学 日本体育大学 日本大学 専修大学 愛知学院大学
名古屋商科大学 大阪学院大学 甲南大学 近畿大学 東亜大学 九州東海大学
第1日 曇りのち雨 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優勝	東北福祉大学	宮里 優作④ 藤島 豊和③ 小野林洋伴③ 渡邊 征伸③ 樺 喜澤② 藤島 晴雄① 山本 隆允①	38 38	34 36	72 74※	41 38	35 37	75 73	280	293
準優勝	日本体育大学	清田太一郎④ 甲斐慎太郎③ 坂本 聰③ 米澤 友一② 川崎 政志② 三野原直愛② 狩俣 安志①	35 33 37 39 36	37 35 39 36 39	72 68 76※ 75 75	36 37 40 38 40	38 38 40 37 41	74 75 77 75 81※	290	301
第3位	日本大学	川根 隆史③ 小原 淳① 北田 华士① 石川 裕貴① 池田 力④ 高山山口 友賀④ 小野 英秋②	37 39 40 39 38	35 37 42 42 34	72 76 82※ 81 72	37 44 39 36 36	41 39 34 36 37	78 83※ 73 72 73	301	296
第4位	大阪学院大学	富田 武仁④ 江尻 壮③ 松岡 正浩③ 戸貝 尚希② 秦 泰西 西 裕一郎①	41 41 38	42 38 37	83※ 78 76 74 75	35 38 44 42 39	38 39 38 40 38	73 78 82 80 82※	303	310
第5位	九州東海大学	渡辺俊一郎④ 高木 伸人④ 佐藤 祐樹③ 深堀 昌之③ 笠 真悟① 本田 大作①	43 35 37 39 35	41 38 39 41 37	84※ 73 76 80 72	43 43 38 36 41	38 39 39 36 40	81 81 77 73 81※	301	312
第6位	愛知学院大学	伊藤 元気④ 青山 雄太④ 小島 亮太④ 統木 達也④ 築橋 謙一② 高山 幸平①	36 40 37 42 36	36 39 37 41 39	72 79 74 79※ 75	44 41 41 38 40	41 43 39 38 34	85※ 84 80 76 74	300	314
第7位	名古屋商科大学	辻村 暢大④ 中武 力③ 鈴木 真一③ 上井 邦浩② 池田 浩二② 鮎井 伸和② 川平 英克①	45 41 36 36 43	35 37 37 38 38	80 78 73 74 81※	40 40 35 37 42	47 38 35 42 43	87※ 78 70 79 85	305	312
第8位	近畿大学	山本 審基④ 池田 创④ 林 堅太郎④ 津田 誠司③ 辻 直孝③ 土佐 達哉① 菊山 暢介①	38 41 39 39 42	36 37 38 38 41	74 78 77 81 83※	38 41 42 40 46	37 36 39 40 42	75 77 81 80 88※	310	313
第9位	専修大学	伊波 助准③ 堀江 俊平③ 平井 俊光③ 諸岡 哲也③ 浦塙 翔智幸② 村田 章悟② 大介①	39 42 43 43 41	38 40 39 40 40	77 82 81 82※ 81	39 40 36 41 40	38 40 35 42 42	77 80 82 88※	321	310
第10位	東亜大学	田原 誠二④ 平沼 孝文③ 浦次 弘道③ 奥川 雄之③ 古川 博紹③ 長井 直也②	39 42 43 45	35 40 38 46	74 82 77 91※	41 44 43 46	37 42 39 44	78 86※ 77 83	317	316
第11位	甲南大学	平松 賢齊④ 鎌谷 勇宏③ 谷村 寿宣③ 吉田 泰典② 山本 鑑② 岩元 洋祐① 高田 和貴①	43	39	82	35 47	43	78 89※	327	324
第12位	札幌大学	松澤 蒙③ 千葉 見太③ 伊藤 彰洋② 池垣 雄介② 高橋 周平①	39 40 39 45 46	40 37 40 40 38	79 77 79 85※ 84	42 45 43 45 44	42 45 45 43 49	77 87 84 88 93※	319	336

最優秀選手：権 奇澤君(東北福祉②) 139ストローク

東北福祉大学が混戦を制し、男子とともに優勝



▲優勝 東北福祉大学チーム

今大会の注目大学は、今年の春季Aブロック対抗戦を2打差で制した東北福祉大学と春季対抗戦2位で巻き返しを図る昨年の覇者である日本大学だった。

第1日首位に立った大学は、チームトータル312打で、東北福祉大学だった。春季対抗戦、第2日目に75打で優勝に貢献し、また関東女子学生選手会では3アンダーの69打で1位通過を果たした、好調の平野さんが77打、同じく77打で坂本さんが続き、1日目を終えた。

一方の日本大学は、今年の春季対抗戦と同じメンバーで挑み、石川さんの74打、大川さんの75打、金子さんの79打と続き、チームトータル313打で、東北福祉大学を1打追う2位についた。春季対抗戦では、初日首位に立った日本大学が2打差を逃げる展開だったが、今大会では、東北福祉大学を1打追う展開なので、微

▲女子の最優秀選手に選ばれた
真鍋 早彩さん（日本体育③）

▲第2位 日本大学チーム



▲第3位 日本体育大学チーム

result

平成14年度
第25回全日本女子大学ゴルフ対抗戦

- 主 催
- 期 日
- 使用コース
- 競 技 方 法
- 取 得 権 利
- 参 加 校
- 天 候

関東学生ゴルフ連盟
平成14年6月18日(月)～19日(水)
利府ゴルフ倶楽部 OUT-IN 6,287yds Par72
2日間36ホールストロークプレー。7人エントリー5人出場、上位4人のトータルスコアで順位を決定。
上位3校までが、2002 TOPY CUP日米対抗ゴルフ選手権への出場権を取得。
日本大学 日本体育大学 専修大学 東北福祉大学 愛知大学 名古屋商科大学
立命館大学 大阪学院大学 龍谷大学
第1日 曇りのち雨 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL		
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日	
優勝	東北福祉大学	桜井 裕華③	41	44	85※	46	41	87※	312	321	
		藤田 祐子③	37	42	79	36	40	76			
		大堀 貴子③							633		
		黒田 律子②							313	322	
		坂本みなみ①	36	41	77	38	43	81			
		平野 希①	36	41	77	40	39	79	635		
準優勝	日本大学	金井 智子①	42	37	79	45	40	85	313	322	
		石川 沙織④	37	37	74	44	40	84			
		田上 五海③	46	43	89※	44	40	84※	635		
		大川 久乃②	37	38	75	40	38	78	313	322	
		重松 利奈②	41	44	85	43	38	81			
		金子 未来①							635		
第3位	日本体育大学	佐藤 圭②	39	40	79	41	38	79	320	325	
		中原みやび④	43	51	94※	38	37	75			
		真鍋 早彩③	36	40	76	46	45	91※	645		
		佐藤 彩香③	41	41	82	44	43	87	320	325	
		利根川雅美③									
		下川めぐみ①	44	38	82	40	41	81	645		
第4位	名古屋商科大学	安田 記子①	40	40	80	39	43	82	327	320	
		堀 瑞穂①									
		高井 純子③	40	44	84	41	41	82	647		
		池田 恵利②	37	40	77	38	40	78	327	320	
		森岡 千晶②	42	44	86※	46	45	91※			
		木村 有希①	44	42	86	39	42	81	647		
第5位	専修大学	藤本 典子①	41	39	80	38	41	79	333	326	
		和田 彩①									
		藤原 利奈①							659		
		石原絵里奈④	38	37	75	40	38	78	335	343	
		塙原いづみ③	46	44	90	41	45	86			
		石川 彩子③	39	44	83	40	38	78	678		
第6位	大阪学院大学	山下 乃子②	40	45	85	40	44	84	344	343	
		松岡 真希④	46	47	93※	50	48	98※	687		
		中塙 梓③	38	43	81	42	43	85	344	343	
		平原恵利加③	42	43	85	45	44	89			
		浦次 有岐①	44	44	88	42	44	86	701		
第7位	龍谷大学	三津 桃子①	40	41	81	43	40	83	361	361	
		新田 由香④	40	47	87	49	47	96	722		
		亘 依子③	42	42	84	40	40	80	344	343	
		田中 史織②	40	42	82	41	40	81			
		伊井田百合子①	45	46	91	43	43	86	722		
第8位	立命館大学								701		
		新井 香里④	53	66	119※	52	53	105	356	345	
		松野麻里子③	41	41	82	43	40	83			
		杉原 良実②	40	41	81	41	40	81	361	361	
		宮田さやか②	50	62	112	61	59	120※			
		香山 麻央①	38	43	81	36	40	76	722		
第9位	愛知大学								722		
		堀 美賀子③	42	42	84	43	42	85	361	361	
		長尾 明美②	40	41	81	44	41	85			
		三浦 純美②	47	47	94	52	45	97	722		
		黒川 直子①	51	51	102	47	47	94	722		
									722		

最優秀選手：真鍋 早彩さん（日本体育③）151ストローク

平成14年度関東大学春季Aブロック対抗戦

東北福祉大学が地力を発揮して、2年ぶり4度目の優勝を達成



▲Aブロック優勝の東北福祉大学チーム

今春の話題は昨年、春、秋を制覇した日本体育大学の牙城を、どこが崩すか。日本大学の復活なるか。それともアマチュア界ナンバーワンの宮里優作君を擁する東北福祉大学が王者に返り咲くか。この3点であった。

だが、蓋を開けると東北福祉大学の力量が断然、他を圧していた。第1日、新人、藤島晴雄君（長崎・日大高）の3アンダーパーを筆頭に、ベスト7のトータルスコアは504。樂々とトップに立って2年ぶりの優勝を手近かに引き寄せた。阿部監督は『7人の平均スコアがイーブンパーの72ですから、最高の出来でしょう』と優勝に向けて自信満々。

有望視された日本大学は、『滑り出しが芳しくない』（嶋田コーチ）という低調な出来で東北福祉大学に11打離されて2位。日本体育大学はこれに6打引き離されて3位にとどまった。

第1日の結果からみると、この3校の団抜けた強さが目立った。4位以下の専修大学、中央学院大学、法政大学とは大きく水が開き、最終日の興味はトップを走る東北福祉大学を日本大学、日本体育大学がどう追いかけるかにかにあった。

最終日の優勝争いを面白くしたのは日本大学の追い



▲Aブロック2位の日本大学チーム



▲Aブロック3位の日本体育大学チーム

result

平成14年度
関東大学春季Aブロック対抗戦

- 主 催
- 期 日
- 使用コース
- 競技方法

関東学生ゴルフ連盟
平成14年5月28日(火)～29日(水)
東ノ宮カントリークラブ さつき～あおい 6,917yds Par72
2日間36ホールストロークプレー。10人エントリー8人出場、上位7人のトータルスコアで順位を決定。

日本体育大学 東北福祉大学 専修大学 日本大学 中央学院大学 法政大学
第1日 晴れ 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL				
			さつき	あおい	TOTAL	さつき	あおい	TOTAL	第1日	第2日			
優勝	東北福祉大学	宮里 優作④	35	35	70	34	35	69	504	510			
		染谷 明幸④	38	39	77※	39	42	81※					
		渡邊 征伸③	37	37	74	36	35	71					
		藤島 豊和③	38	33	71	35	38	73					
		小野林洋伴③											
		権 奇澤②	37	35	72	36	36	72					
		正岡 竜二①	36	37	73	37	40	77					
		山本 隆允①	38	37	75	38	38	76					
		藤島 晴雄①	34	35	69	38	35	73					
		森本 雄也①							1014				
準優勝	日本大学	池田 力④	37	34	71	36	34	70	515	502			
		高山 友賀④	40	34	74	38	40	78※					
		川根 隆史③	38	35	73	35	35	70					
		小野 英秋②	37	43	80	35	34	69					
		北田 隼士①	37	37	74	35	33	68					
		松村 道央①	39	45	84※								
		石川 裕貴①	35	32	67	37	36	73					
		奥山 裕士①				40	37	77					
		小原 淳①	40	36	76	37	38	75					
		加藤 将明①							1017				
第3位	日本体育大学	清田太一郎④	36	36	72	32	35	67	521	518			
		甲斐慎太郎③	42	36	78	39	38	77					
		坂本 聰③	33	37	70	38	37	75					
		金澤健太郎③	38	41	79								
		川崎 政志②	35	36	71	36	37	73					
		米澤 友一②	40	38	78	39	35	74					
第4位	専修大学	高村 宏②	38	44	82※				546	537			
		高村 賢治③				41	36	77					
		三野原直愛②				38	37	75					
		狩俣 安志①	37	36	73	41	37	78※					
		桜木サミー④				43	40	83※					
		木下健太郎④	42	44	86※								
第5位	中央学院大学	伊波 芳准③	39	39	78	37	38	75	562	545			
		堀江 俊平③	38	38	76	35	37	72					
		諸岡 哲也③	38	39	77	37	44	81					
		平塚 智幸②	38	36	74	37	36	73					
		西村 和也②	41	38	79	41	42	83					
		安木 隆介②	38	44	82								
第6位	法政大学	村田 章悟②	41	39	80	43	36	79	564	556			
		原田 大介①				37	37	74					
		木内 健志④	42	42	84								
		齊藤 誠④	41	37	78	40	45	85※					
		佐藤 賢一④	43	38	81	43	38	81					
		長谷川 貴樹④	39	38	77	39	36	75					
メダリスト：宮里 優作君（東北福祉④）、清田 太一郎君（日本体育④） 139ストローク													
以上の結果、法政大学のBブロック降格が決定しました。													

Cブロック対抗戦

▼ Cブロック優勝校 明治大学



再びBブロックに戻ることが出来て嬉しいです。

▼ Cブロック第2位 早稲田大学



秋のブロック戦でリベンジGO

▼ Cブロック第3位 中央大学



次は絶対優勝で

▼ Cブロックメダリスト 猿田勝大君(明治大学)



もっと練習してうまくなります。次はもっとよいスコアで回ります。

Dブロック対抗戦

▼ Dブロック優勝校 帝京大学



Cブロックのみなさん、手加減はしません。

▼ Dブロック第2位 城西国際大学



もっと強くなってCブロックでがんばっていきたいです。

▼ Dブロック第3位 玉川大学



全員でつかみ取り、満足のいくスコアでDブロック優勝します。

◀ Dブロックメダリスト
佐久間雅規君(帝京平成大学)

こんな恥ずかしいスコアだったので、次は満足のいくようにやります。

◀ Dブロックメダリスト
浅井俊輔君(明治学院大学)

メダリストなんて取れて嬉しいです。次もまた取れるようにがんばります。

Eブロック対抗戦

▼ Eブロック優勝校 山梨学院大学



1年生を主力とした若いチームでしたが、他大学に負ることのない練習量で優勝できました。今回の結果に満足することなく、秋の対抗戦は優勝目指して努力します。

▼ Eブロック第2位 東北学院大学



前回の対抗戦でEブロックに降格となり、再びDブロックに昇格する気持ちをもち、がんばりました。秋の対抗戦では、Cブロックに昇格できるようがんばります。

▼ Eブロック第3位 青山学院大学



3位の結果には納得ができないので、秋の対抗戦ではDブロックを目指します。

▼ Eブロックメダリスト 遠藤義明君(山梨学院大学)



チームも優勝でき、私自身もメダリストをとれて嬉しいです。

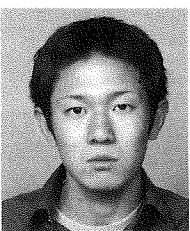
Fブロック対抗戦

▼ Fブロック優勝校 白鷗大学



Eブロックでも優勝できるようがんばります。

Fブロック白鷗大学の牽引役を担った伊藤慶太君(福島・聖光学院～写真)が第1日、12番ホール(パー3)でホールインワンを達成



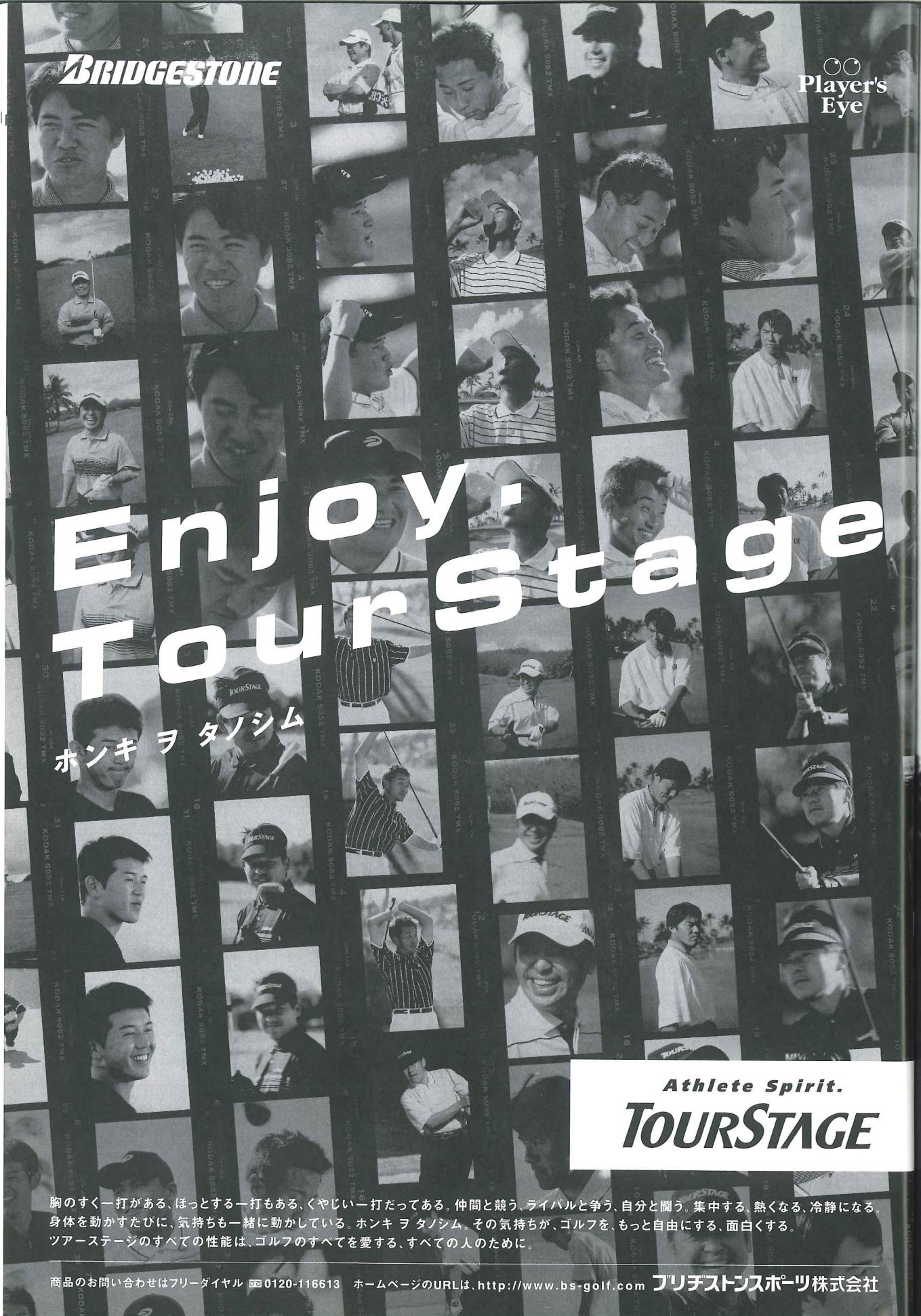
—Fブロック対抗戦から拾った話題—

Fブロックの対抗戦に、女子部員による紅2点の臨時キャディーが登場して注目された。國士館大学の女子部員、釜田吉子さん(湘南工科附属高～写真)と安藤理恵さん(狭山経済高校出)の二人。釜田

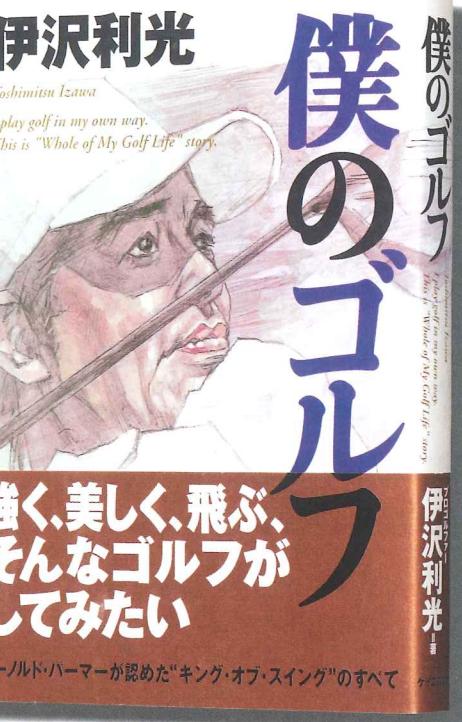


さんは高校時代、陸上競技の中距離の選手だった。テニスの杉山愛さんの後輩。ゴルフは大学に入ってから始め、目下実践を勉強中。この日、同大学2年生の客本正太郎君(2年生)のバッグを担いだが、釜田さんの支援も空しく客本君はランク外。

彼女は現代ビジネス法学科に在学中で、将来は婦人警官になりたいとか。付き添った客本君がミショットをしたら、なんといってなぐさめますか?と質問したら、「ドンマイデース!」「でも、きょうはいい勉強になりました」と汗をぬぐう釜田君にとっては十分な収穫があったようだ。(福島 靖)



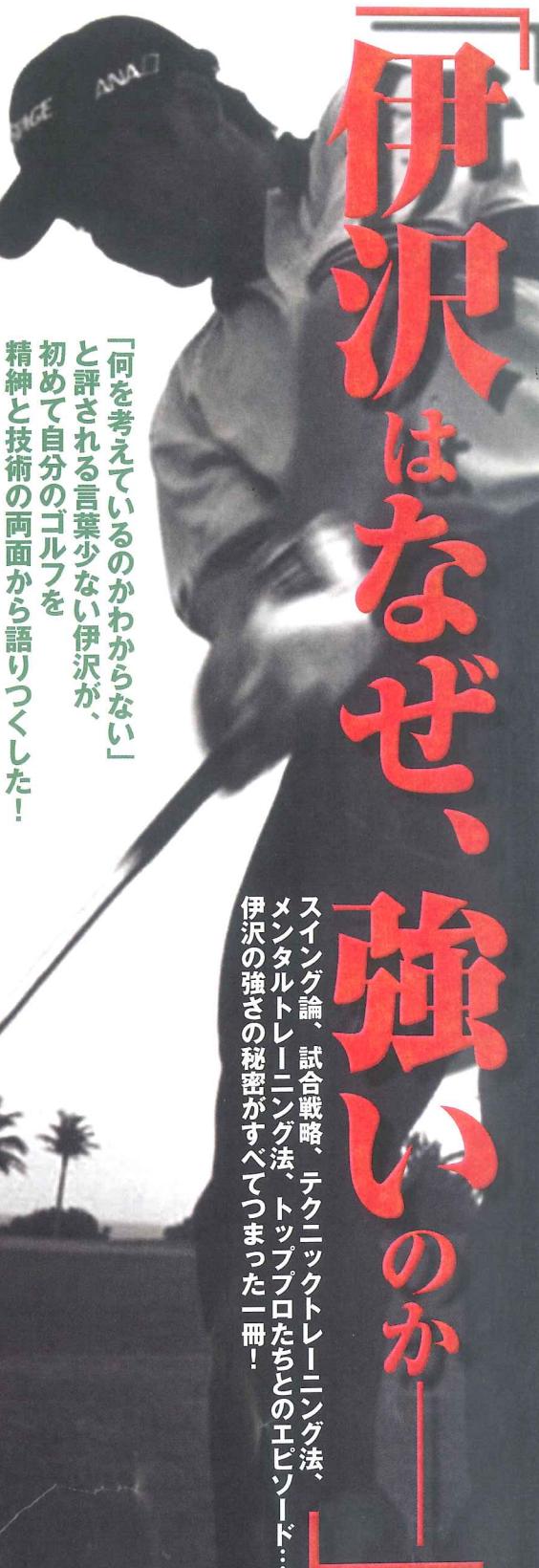
トッププロを目指す学生諸君!!



「何を考えているのかわからぬ」と評される言葉少ない伊沢が、初めて自分のゴルフを精緻と技術の両面から語りつくした!

スイング論、試合戦略、テクニクス、メンタルトレーニング法、トッププロたちとのエピソード...
伊沢の強さの秘密がすべてつまつた一冊!

伊沢はなぜ、強いのか――



A5版ソフトカバー／320P（写真、イラスト満載）
定価：本体1600円+税

発行：ソフトガレージ／発売：ケイエスエス

お近くの書店でお求めください。
お問い合わせはケイエスエス出版部まで
TEL03-5464-1233/FAX03-5464-1884

KSS

胸のすぐ一打がある、ほっとする一打もある、くやじい一打だってある。仲間と競う、ライバルと争う、自分と闘う。集中する、熱くなる、冷静になる。身体を動かすたびに、気持ちも一緒に動かしている。ホンキヲタノシム。その気持ちが、ゴルフを、もっと自由にする、面白くする。ツアーステージのすべての性能は、ゴルフのすべてを愛する、すべての人のために。

東北福祉大学が2季連続2度目の優勝、 平野さんの起用ズバリ



▲Aブロック優勝の東北福祉大学チーム
「今回は1年生ががんばってくれたので、このような素晴らしい結果を残すことが出来ました。すぐの全日本でも優勝したいです。」

今年のAブロック対抗戦は、法政大学がエントリーをしなかったため5校で争われた。1日目のお昼ごろまで豪雨の中、各選手ともにスコアをまとめるのが大変な条件下で行われた。

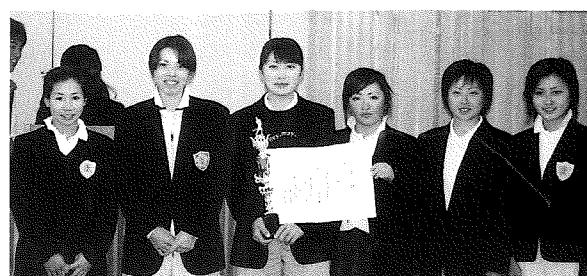
1日目の首位に立った日本体育大学は、332打で、そのあとを1打差、333打の日本大学、専修大学が追い、さらに首位と2打差で東北福祉大学が続く大混戦となり、2日目の成績次第でどの大学が優勝するか全く予測できない流れの展開になった。

2日目の天候は前日の天候とはがらりと変わって、晴天の中で行われた。

1日目首位だった日本体育大学は、下川さんの今大会最少ストロークタイの75打を筆頭に、各選手がそつなくスコアをまとめ、327打で2日目を終えトータルでは647打とした。

1打差を追う専修大学は1日目、唯一の70代をマークした石川彩子さんが1日目同様、2日目も79打で終えてチームを引っ張り、322打で2日目を終え2日間合計655打とし、日本体育大学を追い抜いた。

同じく1打差を追う、日本大学は平成13年度春・秋



▲Aブロック2位の日本大学チーム
「みんなが団結してこの結果になりましたが、雪辱戦として今度は全日本で優勝を目指します。」



▶Aブロックメダリスト

飯塚 千重さん（左・中央学院②）「初日はスコアがあまり出ずにつかって、狙っていたので取れてうれしいです。」
石川彩子さん（右・専修③）「メダリストというタイトルが取れて大変嬉しいです。」

ブロック戦メダリストの石川沙織さんの77打を筆頭に、ついで大川さん78打、重松さん79打、金子さん80打と各選手がスコアをしっかりとまとめ、1日目より19打少ない314打で2日目を終え、2日間トータルで647打と去年の秋に続き優勝を思わせた。しかし、2打差で追う東北福祉大学は2日目に、1日目調子の悪かった黒田さんに代って出場した平野さんの起用が見事に当たり、75打と大活躍し、それに続き坂本さん76打、藤田さん79打、桜井さん79打と去年の春優勝を経験しているレギュラーと1年生とが見事にかみ合い、2日目、団体で309打とし2日間トータルで647打と混戦を一歩抜け出し、2位と3打差で2季連続2度目の優勝を手に入れた。

1日目出遅れた中央学院大学は2日目、飯塚さんの75打を中心に79打、79打、81打と合計314打と日本大学と同じスコアだったが、1日目の17打差を埋めることができずに5位に終った。

メダリストには158打で石川彩子さん（専修③）と飯塚千重さん（中央学院②）がタイスコアで輝いた。

（東洋大学 粟原卓也）



▲Aブロック3位の専修大学チーム
「今回は実力を充分に発揮出来なかったので、悔いの残らないように、次の全日本ではタイトルを取りたいです。」

result

平成14年度 関東女子大学春季Aブロック対抗戦

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年5月11日(土)～12日(日)
- 使用コース 那須小川ゴルフクラブ QUEEN OUT-IN 6,075yds Par72
- 競 技 方 法 2日間36ホールストロークプレー。6人エントリー5人出場、上位4人のトータルスコアで順位を決定。
- 参 加 校 専修大学 日本大学 東北福祉大学 日本体育大学 中央学院大学
- 天 候 第1日 雨後曇り 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏名	第1日			第2日			GRAND TOTAL		
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日	
優勝	東北福祉大学	大堀 貴子③	45	42	87	41	39	80※	335	309	
		藤田 祐子③	41	40	82	40	39	79			
		桜井 裕華③	43	40	83	39	40	79			
		黒田 律子②	45	42	87※	37	39	76			
		坂本みなみ①	43	40	83	37	38	75			
		平野 希①							644		
準優勝	日本大学	石川 沙織④	43	39	82	38	39	77	333	314	
		田上 五海③	41	39	80	45	42	87※			
		大川 久乃②	45	41	86	41	37	78			
		重松 利奈②	46	47	93※	42	37	79			
		佐藤 圭②	44	41	85	40	40	80			
		金子 未来①							647		
第3位	専修大学	石原絵里奈④	37	44	81	39	42	81	333	322	
		石川 彩子③	41	38	79	38	41	79			
		塚原いずみ③	45	42	87	38	42	80			
		鈴木 麻美③	45	41	86	38	46	84※			
		山下 久子②	45	47	92※	43	39	82	655		
		中原みやび④							655		
第4位	日本体育大学	佐藤 彩香③	45	41	86	46	45	91※	332	327	
		真鍋 早彩③	40	40	80	39	41	80			
		利根川 雅美③	42	39	81	43	43	86			
		下川めぐみ①	42	47	89※	40	35	75			
		安田 記子①	40	45	85	41	45	86			
		渡辺 順子③	39	47	86	39	42	81	349	314	
第5位	中央学院大学	増島 忍③									
		黒沢 有希②	48	42	90	40	39	79			
		飯塚 千重②	43	40	83	39	36	75			
		檜山 恭子②	44	47	91※	41	38	79			
		旭岡 友美①	45	45	90				663		
		メダリスト：石川 彩子さん（専修③）、飯塚 千重さん（中央学院②）	158ストローク								

欠場した法政大学はBブロックへ降格。

明治大学が17打差で慶應義塾大学を抑える。 学習院大学がまとまって3位を確保。



▲Bブロック優勝の明治大学チーム
「1人1人ががんばって、優勝することが出来てよかったです。」

1日のリードをさらに広げ、2日間トータルで17打差放し、トータルで533打とし優勝を決めた。

3位争いは、1日目、学習院大学の295打、玉川大学の297打、東洋英和女学院大学の300打、立教大学の307打と続いた。

2日目の学習院大学は、全員スコアが崩れることなく、2日目280打で2日間トータル575打で終え、2日目もスコアを着実に縮めて3位となった。玉川大学は今野さんが78打を出しチームを引っ張ったが、2日目285打と学習院との差を埋めることができず、トータル582打で5位となった。東洋英和女学院大学は全員が平均した成績を残し2日目281打、トータルで581打と奮闘したが、1日の大差が響いての4位に終わった。立教大学は1日の出遅れが響きそのまま6位に甘んじた。

メダリストは優勝の原動力となった中島佳奈子さん(明治④)の158打であった。158打はAブロックのメダリストと同スコアなので、Aブロック入りしての活躍に期待したい。

(東洋大学 栗原卓也)



▲Bブロック2位の慶應義塾大学チーム
「秋のブロック対抗戦ではBブロック優勝を目指してがんばります。」



▲Bブロック3位の学習院大学チーム
「色々と苦労もありましたが、3位に入れて嬉しいです。」

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年5月11日(土)~12日(日)
- 使用コース 那須小川ゴルフクラブ QUEEN OUT-IN 6,075yds Par72
- 競 技 方 法 2日間36ホールストロークプレー。5人エントリー4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。
- 参 加 校 玉川大学 慶應義塾大学 東洋英和女学院大学 学習院大学 立教大学 明治大学
- 天 候 第1日 雨後曇り 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優 勝	明 治 大 学	中島佳奈子④	43	37	80	42	36	78	279	254
		島村幸子④	60	62	122※	52	51	103※		
		愛甲遙④	49	48	97	45	45	90		
		三宅孝枝②	50	52	102	41	45	86		
		鎌寄陽子②							533	
準 優 勝	慶 應 義 墓 大 学	佐藤葉月④	50	51	101※	51	46	97※	282	268
		浅川弘子③	45	38	83	41	40	81		
		野原祥子③	51	48	99	47	45	92		
		小久保亜紀②	50	50	100	49	46	95		
		小林真貴子②							550	
第 3 位	学 習 院 大 学	嵐由加里④	47	45	92	40	48	88	295	280
		峯嶋美智子③	46	44	90	44	49	93		
		長谷川絵美④	59	54	113	48	51	99		
		山口みどり④				50	56	106※		
		谷口梓④							575	
第 4 位	東 京 義 墓 大 学	塩崎亜耶④	45	58	103	48	43	91	300	281
		武井洋子④	55	44	99	43	48	91		
		山田すみれ④				52	53	105※		
		館知子③	51	47	98	54	45	99		
		橋由香③	57	55	112※				581	
第 5 位	玉 川 大 学	今野香織④	41	42	83	38	40	78	297	285
		大橋華子④	50	53	103	55	48	103		
		横川宏美③	58	53	111	53	51	104		
		中丸裕美①	63	58	121※	53	56	109※		
									582	
第 6 位	立 教 大 学	三浦真理子④	50	49	99	50	47	97	307	295
		武藤可奈子②	60	56	116※	54	51	105		
		島田章子②	55	60	115	52	64	116※		
		原千登勢②	47	46	93	48	45	93		
		菊地久美子①							602	

メダリスト：中島佳奈子さん(明治④) 158ストローク

以上の結果、明治大学のAブロック昇格と、立教大学のCブロック降格が決定しました。

Cブロック対抗戦

▼ Cブロック優勝校 川村学園女子大学



初めての領域のBブロックへ行けてうれしいです。これからも維持してがんばりたいです。

▼ Cブロック第2位 日本女子大学



天候があまりよくない中で、みんながんばったと思います。2位という結果には満足しています。

▼ Cブロック第3位 聖心女子大学



みんなが協力してがんばることができました。夏のリーグ戦では、優勝できるようにしたいです。

▼ Cブロックメダリスト 大塚 麗紗さん（日本女子大学）



1日目は悪天候で大変でしたが、メダリストになれてうれしいです。更なる技術の向上を目指してがんばります。

Dブロック対抗戦

▼ Dブロック優勝校 大東文化大学



2年前のチャレンジカップからがんばって、Cブロックまでいけることができました。これからも団結して、上を目指したいです。

▼ Dブロック第2位 共立女子大学



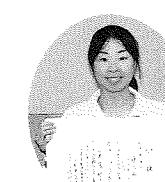
チームワークを大事にしてこれからもやっていきたいです。

▼ Dブロック第3位 成城大学



一年生、二年生しかいない中でがんばりました。これからも練習に励み、Cブロックへいけるようがんばります。

▼ Dブロックメダリスト 加藤百希子さん（大東文化大学）



こんな賞がとれるとは思わなかったです。うれしいです。

result

平成14年度
関東女子大学春季Cブロック対抗戦

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年5月11日(土)～12日(日)
- 使用コース 那須小川ゴルフクラブ QUEEN OUT-IN 5,750yds Par72
- 競 技 方 法 2日間36ホールストロークプレー。5人エントリー4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。
- 参 加 校 聖心女子大学 成蹊大学 日本女子大学 清泉女子大学 上智大学
川村学園女子大学 東京家政学院大学
- 天 候 第1日 雨後曇り 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優勝	川村学園女子大学	芦澤 麻衣④	46	48	94	47	42	89	292	276
		青木 純子②	67	56	123※	62	53	115※		
		白子 智美③	46	54	100	46	47	93		
		星山 知美②	52	46	98	46	48	94		
準優勝	日本女子大学	大塚 麗紗③	42	46	88	42	39	81	317	280
		立岩 寛子①	61	58	119	56	54	110※		
		鈴木亜矢子②	60	61	121※	57	51	108		
		染宮 香絵②	55	55	110	45	46	91		
第3位	聖心女子大学	前田 千尋②	50	57	107	52	48	100	309	298
		西住 明子④	53	48	101	48	48	96		
		杉田 友美④	50	51	101	51	51	102		
		高井 聖子④	56	56	112※	50	56	106※		
第4位	東京家政学院大学	山田 祥子②	53	53	106	48	49	97	327	299
		渡辺 優子②	50	54	104	52	52	104		
		古木 智子①	60	57	117	48	50	98		
		鈴木阿紗美③	67	70	137※	71	66	137※		
第5位	上智大学	遠藤いづみ③	53	53	106	47	45	92	328	310
		梅田 香世③	56	60	116	58	53	111		
		岸 由起子③	70	75	145※	62	60	122※		
		吉岡美智子①	53	58	111	56	51	107		
第6位	清泉女子大学	公望 賀子③	54	54	108	55	50	105	363	346
		相樂得美子③	65	76	141※	57	66	123		
		岸本 聰子③	58	66	124	59	59	118		
		釋 晴香②	67	64	131	70	69	139※		
失格	成蹊大学	吉本 仁美①	51	50	101	45	50	95	327	失格
		松丸 紀子④	52	61	113	51	50	101		
		藤田 朋子③	57	56	113	アテストミス				

メダリスト：大塚 麗紗さん（日本女子③）169ストローク

以上の結果、川村学園女子大学のBブロック昇格と、清泉女子大学と成蹊大学のDブロック降格が決定しました。

平成14年度
関東女子大学春季Dブロック対抗戦

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年5月11日(土)~12日(日)
- 使用コース 那須小川ゴルフクラブ QUEEN OUT-IN 5,750yds Par72
- 競技方法 2日間36ホールストロークプレー。5人エントリー4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。
- 参 加 校 共立女子大学 成城大学 白百合大学 フェリス女学院大学 実践女子大学 東京大学 大東文化大学
- 天 候 第1日 雨後曇り 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優勝	大東文化大学	恩塚明日香③	51	49	100	51	54	105	323	310
		千葉亜希子③	54	57	111	57	59	116		
		加藤百希子③	47	65	112	46	43	89		
		李 庚旻①	80	81	161※	77	81	158※	633	
準優勝	共立女子大学	桐原奈緒子③	65	55	120※	57	57	114※	340	314
		松本 知花③	56	57	113	54	48	102		
		今杉由美子③	55	58	113	56	50	106		
		吉原佳奈子③	52	62	114	51	55	106	654	
第3位	成城大学	濃人工ミ子②	64	68	132	64	61	125※	400	348
		宮本 亜美②	73	79	152※	64	59	123		
		本山 亜弥①	65	57	122	52	48	100		
		岩本名里子①	65	81	146	64	61	125	748	
第4位	東京大学	近藤さやか④	64	60	124	55	61	116	381	367
		永藤 杏子④	66	68	134	75	83	158※		
		赤根 妙子②	64	59	123	61	63	124		
		湯浅 直美①	63	77	140※	62	65	127	748	
第5位	実践女子大学	倉岡 杏子②	71	79	150	67	58	125	410	361
		小田島理美②	58	73	131	57	60	117		
		増田 実佳①	84	96	180※	74	93	167※		
		阿部 智恵②	64	65	129	62	57	119	771	
第6位	白百合大学	杉山智香子②	62	57	119	53	53	106	397	378
		幸島 杏里②	68	76	144	64	69	133		
		本多麻里子①	73	61	134	71	68	139		
									775	
第7位	フェリス女学院	出島 慶子③	62	68	130	63	58	121	422	421
		常木真理絵③	61	65	126	63	68	131		
		荒 マリナ①	75	91	166	82	87	169		
		佐藤 直子①				101	103	204※	843	

メダリスト：加藤 百希子さん(大東文化③) 201ストローク

以上の結果、大東文化大学と共立女子大学のCブロック昇格が決定しました。

MIZUNO
THE WORLD OF SPORTS



ハロー、ニュードライビング。

あなたは、ただヘッド、シャフトを選ぶだけでいい。今までのスイングで、“理想のドローボール”が生まれます。
「最適重心」で、あなたがはじめて感じるボールのつかまりが。
「超・反発C.O.R.」で、想像を超える反発力を。300SIIで、本当のあなたに出会ってください。

—— 315と330が、あなたの飛びを新しくする。 ——

300SII 315 〈TOUR SPIRIT SILVER 80/70〉シャフト付 ¥90,000
330 〈TOUR SPIRIT BLUE 60〉シャフト付 ¥80,000
〈TOUR SPIRIT SILVER 70/60〉シャフト付 ¥90,000
〈TOUR SPIRIT BLUE 50〉シャフト付 ¥80,000

●ミズノは、国際規格ISO9001(ゴルフクラブ)、ISO14001(養老工場)を取得しました。●http://www.mizuno.co.jp ●記載価格はすべて税抜き価格です。
●ミズノ製品については――「ミズノお客様相談センター」東京TEL.(03)3233-7110 FAX.(03)3233-7217 大阪TEL.(06)6614-8110 FAX.(06)6614-8463



平成14年度
関東学生ゴルフ連盟女子4月月例会

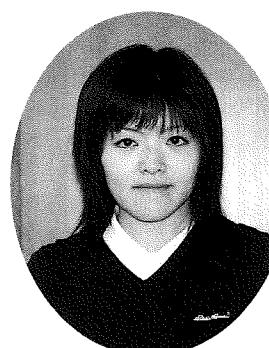
- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年4月9日(火)
- 使用コース 大宮カントリークラブ くれないコース OUT-IN 5,650yds Par70
- 競 技 方 法 18ホールストロークプレー
- 取 得 権 利 上位7位以内(タイを含む)が、第38回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。
- 天 候 曇り

成績

順位	氏名	大学名	TOTAL
1	旭岡 友美	中央学院①	75
2	鄭 瞳實	中央学院①	88
3	萩原 智子	慶應義塾②	93
4	斧田奈央子	学習院②	96
5	網蔵 純子	東洋英和女学院②	101
6	松永亜希子	横浜市立②	102
7	新井 美純	東洋英和女学院②	104
以上、上位7位タイまでが、第38回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。			
8	富田美貴子	東洋英和女学院②	107
9	鎌崎 陽子	明治①	109
10	菊地久美子	立教①	116
11T	久保田直子	立教①	118
	田原 純子	立教①	118
13	櫻木 慶子	明治①	119
以下、リミットオーバー			
	平島 美香	慶應義塾②	
	武田絵里子	明治①	

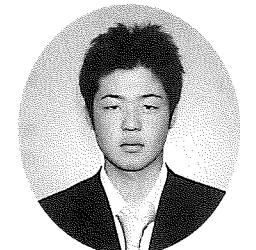
4月の月例競技に優勝した旭岡友美さん（中央学院大学1年生）

15人の参加者中、たった一人70台のスコアをマークして独走の優勝をとげた。河川敷のコースは百戦錬磨のゴルファーでさえ難しいといわれるが、旭岡さんは5オーバーパーの75で回った。日体荏原高校の出身で今春、中央学院大に入学したばかりのピッカピッカの一年生である。高校時代は関東のジュニア競技を体験しているだけあり、他を寄せ付けなかったのは当然だろう。旭岡さんは「早く部の活動に馴染んで、多くの競技に出ていい成績を挙げたい」と勝利を喜んでいた。



平成14年度
関東学生ゴルフ連盟男子5月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年5月14日(火)
- 使用コース セベバレステロスゴルフクラブ OUT-IN 6,975yds
- 競 技 方 法 Par72
- 取 得 権 利 18ホールストロークプレー
- 天 候 上位9位以内(タイを含む)が、第40回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。
- 天 候 曇り



▲月例会優勝の
額賀 辰徳君(中央学院①)

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	額賀 辰徳	中央学院①	37	39	76
2	加藤 大幸	中央学院①	36	41	77
3	福田 智仁	東洋①	39	41	80
4	澤木 正宏	中央学院①	45	36	81
5T	栗山 忠男	東北福祉③	40	43	83
	伊藤健太郎	明治①	41	42	83
7	安部 有輝	学習院③	45	39	84
8	中村 友彦	神奈川①	40	45	85
9T	金田 相範	東北福祉②	45	42	87
	松井 政人	立教②	42	45	87
以上、上位9位タイまでが、第40回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。					
11T	坂本 篤紫	早稲田②	50	38	88
	力石康一郎	慶應義塾①	44	44	88
13T	内田 貴久	神奈川①	44	45	89
	山口 卓	専修①	45	44	89
15	徳留 達哉	東北福祉①	47	44	91
16	長田 昌也	立教②	45	47	92
17	諸岡 昭彦	千葉商科②	45	48	93
18	塩沢 篤	立教②	47	47	94
19T	照屋 慎治	早稲田①	47	48	95
	古川 裕介	明治③	48	47	95
	佐藤 圭胤	東洋①	42	53	95
	原澤 和彥	東洋①	50	45	95
23T	清川 忠康	慶應義塾③	46	50	96
	小田憲一郎	慶應義塾②	48	48	96
	米澤 将史	明治②	50	46	96
	安藤 俊介	神奈川②	48	48	96
	日比聰二郎	千葉商科②	49	47	96
28	内田 寛之	國學院①	50	47	97

以下、リミットオーバー

山野 福司	中央③
長沢 新	中央①
佐藤 覧	新潟②
飯塚 哲也	新潟①
北原 聰	学習院③
鈴木 野亞	専修③
山田 淳一	新潟①
久保谷 豊	國學院①
篠田 康平	千葉商科②
八角 敬史	國學院①

平成14年度
関東学生ゴルフ連盟男子6月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年6月14日(金)
- 使用コース ダイヤグリーンゴルフ倶楽部 鉢田コース OUT-IN 6,790yds Par72
- 競 技 方 法 18ホールストロークプレー
- 取 得 権 利 上位7位以内(タイを含む)が、第40回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。
- 天 候 曇り



▲月例会優勝の
峯 康貴君 (大東文化③)

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	峯 康貴	大東文化③	35	39	74		塩沢 篤	立教②	41	48	89
2	加藤 尚史	成蹊③	42	36	78		上岡 慶一	関東学院①	41	48	89
3T	吉安 望	神奈川①	37	42	79	34	高橋 大輔	神奈川③	49	41	90
	峠 一臣	専修①	39	40	79	35T	鈴木 剛	中央③	43	48	91
	小松 鑿	山梨学院①	40	39	79		松野 志樹	玉川③	45	46	91
6T	篠 良太	中央学院②	42	39	81		小枝 孝次	関東学院①	46	45	91
	岩崎 悠也	中央学院②	41	40	81		小檜山 毅	学習院②	46	45	91
8T	坂本 篤紫	早稲田②	40	42	82	39	磯村真一朗	成城①	45	47	92
	平口 廉幸	一橋③	43	39	82	40	清川 忠康	慶應義塾③	47	46	93
	村上 功一	早稲田②	40	42	82	41T	竹内 一樹	城西国際①	47	47	94
	吉野 剛士	成蹊③	42	40	82		深澤 誠	立正②	48	46	94
	松口 英樹	横浜商科②	44	38	82		長田 昌也	立教②	52	42	94
以上、上位8位タイまでが、第40回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。											
13T	井田 勇太	中央学院①	42	41	83	46T	大坪 泰介	横浜商科②	51	45	96
	渡辺 将光	専修①	42	41	83		土持 寿郎	玉川②	49	48	97
	力石康一郎	慶應義塾①	43	40	83	48T	枝次 晋吉	立正①	49	48	97
17T	尾崎 圭	青山学院③	39	44	83		石橋 昌士	関東学院④	52	46	98
	森田 隆昭	城西③	43	41	84	50T	柳田 恵之	成城②	44	54	98
	江守 剛	大東文化③	40	44	84		神田 周永	東京①	50	48	98
	篠原 拓史	立教①	42	42	84		谷口 国大	玉田 栄二	50	48	98
	小田憲一郎	慶應義塾②	42	42	84	54T	松浦 陽祐	成城②	42	57	99
22T	土金 重央	白鷗②	45	39	84		磯谷 元希	東京農業①	44	55	99
	佐藤 一樹	横浜商科①	42	43	85	以下、リミットオーバー					
	望月真之介	山梨学院②	44	41	85						
24T	橋本 雄介	東京②	42	44	86		平塚 昌廣	東京農業①			
	岡村 直紀	明治②	40	46	86		青木 賴宣	白鷗①			
	吉川 祐介	明治③	42	44	86		松本 祐紀	白鷗②			
	内田 貴久	神奈川①	41	45	86		岡村 健一	上智②			
28T	延沢 雅史	学習院①	41	47	88		小椋 陽介	城西国際①			
	真田 利彦	城西①	45	43	88		高橋 大樹	青山学院①			
30T	米沢 将史	明治②	43	46	89		笹田 陽勇	成蹊②			
	本田 貴英	山梨学院①	46	41	89		東口 晴一	東京農業①			

平成14年度
関東学生ゴルフ連盟女子6月月例会

- 主 催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成14年6月14日(金)
- 使用コース 大宮カントリークラブ OUT-IN 5,650yds Par70
- 競 技 方 法 18ホールストロークプレー
- 取 得 権 利 上位6位以内(タイを含む)が、第38回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。
- 天 候 曇りのち晴れ



▲月例会優勝の
小林 薫さん(山梨学院①)

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	小林 薫	山梨学院①	41	38	79
2	足立 晶子	東洋英和女学院②	44	42	86
3	大島かおり	東京農業②	45	47	92
4	松本 知花	共立女子③	46	47	93
5	桐原奈緒子	学習院③	48	46	94
6T	岡田 裕実	学習院②	45	50	95
	道祖尾直美	学習院③	47	48	95
以上、上位6位タイまでが、第38回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を取得。					
8	富田美貴子	東洋英和女学院②	48	49	97
9	立石 寛子	日本女子①	46	52	98
10	染宮 香絵	日本女子②	46	53	99
11	平山有希子	慶應義塾①	48	54	102
12T	千葉亜希子	大東文化③	50	53	103
	関口 麻衣	東洋英和女学院②	52	51	103
14	中川 琴代	東洋英和女学院②	52	52	104
15T	藤井 早紀	共立女子②	53	52	105
	平島 美香	慶應義塾②	56	49	105
17T	前田 美	学習院②	50	56	106
	櫻木 慶子	明治②	50	56	106
19	飯田久美子	共立女子③	55	52	107
20T	栗原 加奈	共立女子③	53	55	108
	鈴木まゆこ	國學院②	53	55	108
22	赤羽 亜樹	学習院③	54	55	109
23T	田原 淳子	立教①	58	52	110
	柏木久美子	大妻女子①	51	59	110
	武田絵里子	明治②	59	52	111
以下、リミットオーバー					
	久保田直子	立教①			
	上田 寛子	学習院②			
	李 庚旻	大東文化①			
	小泉 瑛子	國學院①			

編集後記

始めまして…。今年度の広報局次長を務めさせて頂いています、東洋大学の栗原卓也です。今回のKSGAは如何だったでしょうか。今回からKSGAの制作を担当していますが、写真を撮ることや競技会レポートをまとめるなど、ほとんどが不慣れなことだったので、大変戸惑いながら作りました。引継ぎをした時には、まあなんとか私にも出来ることと思いましたが、実際作業をしてみると時間がかかり、締切ぎりぎりで仕上げるはめになり、要領の悪さを実感している今日この頃です。次号からは作業にも慣れて、余裕をもって制作できるものと思います。毎号少しづつではありますがよりよい紙面にしていきたいと考えていますので、何かご意見、ご感想ありましたら、関東学生ゴルフ連盟広報局までご連絡ください。

さて、今回のKSGAの内容は、春の対抗戦を中心とした内容になっています。新しく取り入れたことは、月例会の1位通過選手の顔写真をResultに入れてみたことです。これは、全ての試合に焦点を当てる目的で行いました。

最後に、これから試合会場でお会いする機会があると思いますが、邪魔にならないようこころがけて取材をしていますが、邪魔な場合は一言声をかけてください。これから1年間、よろしくお願いします。

平成14年度広報局次長 栗原 卓也（東洋大学）

■全日本学生ゴルフ連盟
加盟校214校
創立 昭和31年3月19日

■関東学生ゴルフ連盟
加盟校 77校
創立 昭和10年2月2日

(2002年7月 現在)

この機関誌に関するご意見、
ご感想、ご質問などなんでも結構です。
広報局までお寄せください。

**関東学生ゴルフ連盟
機関誌
2002/Vol.52**

平成14年7月20日発行
(年4回発行)
発行人 松本 富夫
編集人 栗原 卓也
発 行 関東学生ゴルフ連盟
〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-9-3
チヨダビル 4階
電話03-3263-4377
FAX.03-3263-4590
編 集 関東学生ゴルフ連盟広報局

闘う人々がいる。

PRGR TR/TR-X

ファイティング・ドライバー



飛びの集中力が違う。三点一致ヘッドが、初速を上げる。飛びの確率を上げる。闘う人々へ、最高の答えを出す。
ファイティング・ドライバー。TR、そして、TR-X。資料請求/株式会社プロギア tel 03-3436-3341 プロギアウェブマガジン <http://www.prgr-golf.com>